



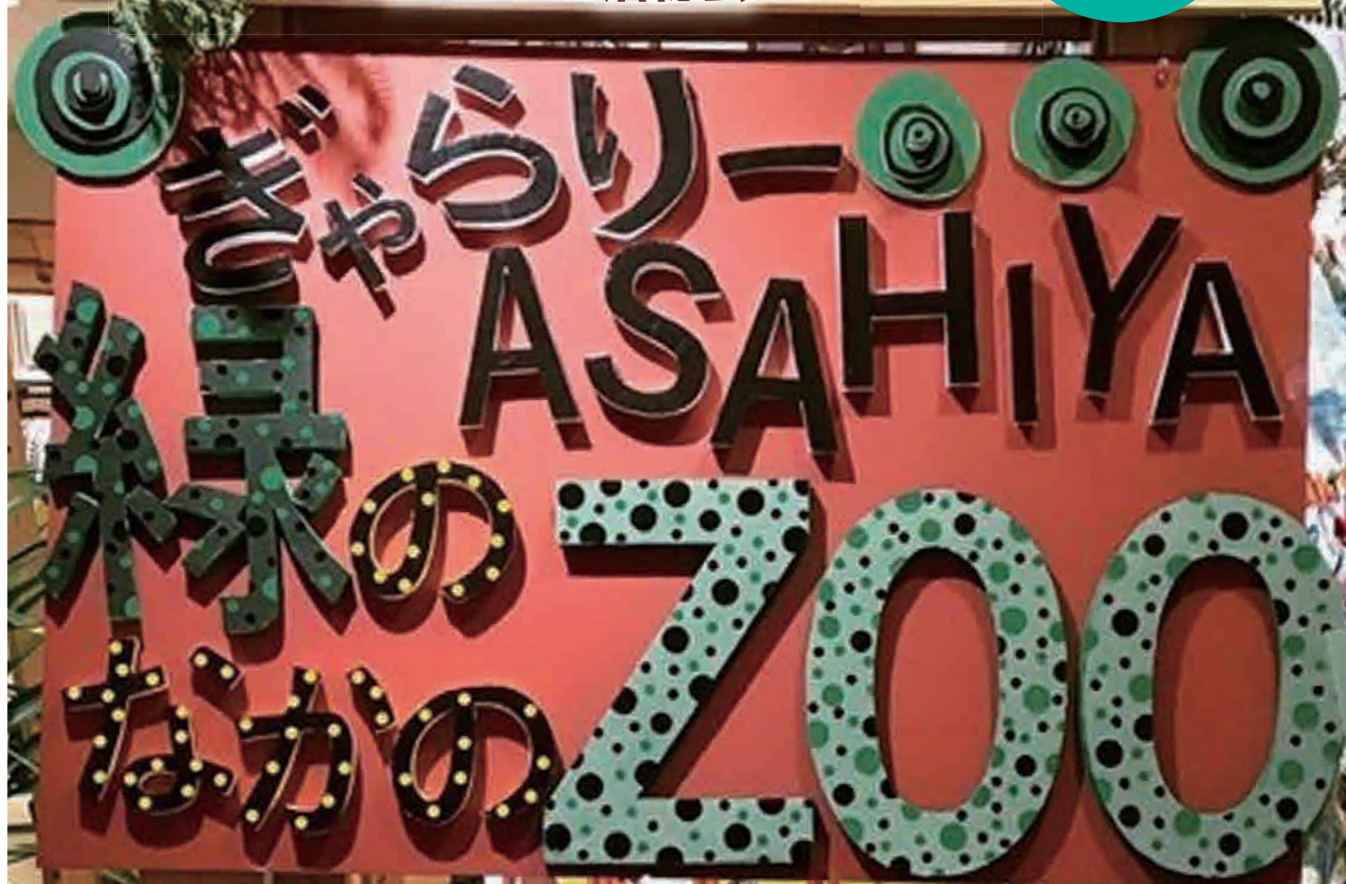
OCHIHOKAI

落穂会だより

社会福祉法人 落穂会

2021年
136号

令和3年10月31日
発行



P2. ギャラリー ASAHIYA アート展

P3. ～緑のなかのZOO～

P4. My Field (マイフィールド)

P5. さんぼみち

P6. TOPIX (トピックス)

P8. Bakery 楓 新商品紹介
カフェ NODOKA デラックスプレートランチ
「楓の日」開催中！
ギャラリーASAHIYAよりお知らせ



ぎゃらりーASAHIYAアート展 ～緑のなかのZOO～

～アミュプラザ鹿児島・マルヤガーデンズ・山形屋 3館合同企画 ABSORB 2021～

8月20日(金)～9月5日(日)の期間において、「アミュプラザ鹿児島・マルヤガーデンズ・山形屋 3館合同企画 ABSORB 2021」が開催されました。

その中で、マルヤガーデンズと「ぎゃらりーASAHIYA」がコラボし、「ぎゃらりーASAHIYAアート展～緑のなかのZOO～」という展示会・販売会を実施させていただきました。そこで、今回は、マルヤガーデンズの「営業企画部」・「テナント管理部門」を束ねる営業推進部の部長を務める松見千種様と、あさひが丘企画担当スタッフの田端敬美さんの本企画に込められた思いを語っていただきました。

今回の企画に至った経緯を教えてください。

8年位前から「アミュプラザ鹿児島・マルヤガーデンズ・山形屋」の3館で合同企画を行ってきました。最近はこの企画に「社会的な取り組み」が目立ってきていると思います。例えば、かごりんを使ったハロウィン企画では、ただ楽しいだけではなく、環境を考えながら人が街に出るきっかけをつくることを意図していました。企画を進める中で、以前、ぎゃらりーASAHIYAの見学をさせてもらったときに、2020年のパラリンピックの時期に合わせて、マルヤ単体で、ぎゃらりーASAHIYAの作品を展示したいって思っていたんです。思っていた以上に特徴的な作品が多くて、この作品をもっと多くの人に見てもらえたらみんな楽しいだろうなって思っている中、3館合同企画の時期になり、この機会にと思い、ASAHIYAさんとのコラボ企画に至りました。

マルヤガーデンズには「Unitement (すべてをつなぐ)」というコンセプトがあります。人と人、人とモノ、モノとコト。すべてを有機的につなぐという意味です。ただ単にセールをするというだけではなく、イベントを行い、人が自然な形で集う場をつくっていききたいという思いが込められています。それを象徴しているのが、マルヤガーデンズの「壁面緑化」です。建物は普通「できたとき」が一番キレイですが、マルヤガーデンズは10年経った今の方が、開館当初より緑が生い茂ってキレイなんです。これは、Unitementによって様々なものが「成長」したことを表現しています。



松見 千種 氏



私たちだけでは、今回の企画でここまで発想が広がらなかったなと思います。例えば、平面の絵を発砲スチロールで立体化させて展示するとか。やっぱり普段近くで利用者の方々の創作場面や生活を支えているスタッフさんだからこそその発想だなと思いました。後は、こういうイベントって、作者の名前はイニシャルで紹介というケースが多いんですけど、今回は作者に焦点をあてて、名前だけではなくその人の個性も紹介できたのはすごく良かったと思います。障害があろうがなかろうが、表現する人間としては同じステージにいるわけだし、同じステージどころか、私なんかより自由に楽しんで作品を創作されているので、その魅力を伝えられたかなと思います。

今回の発泡スチロールでつくった「アリ」には、再度自分を見つめなおさせられましたね。結構自分では、自身の先入観を捨ててアートを楽しもうと思っているつもりなんですけど、私の中で「アリはこうあるべきだ!!」という思い込みがあったんだなとはっとさせられました。まだまだだなと・・・(笑)

最後に今後に向けて一言、お願いします!

マルヤガーデンズの魅力をさらに積み上げていきたいと思っています。ネットで何でも購入できる時代であるからこそ、誰もが「マルヤガーデンズに行きたい」と思えるような企画やイベントをしていければと思っています。

コロナの影響で、必ずしも順風満帆というわけにはいかない状況の中でも、松見さんは下を向かず、常に「今できること」を模索し続ける姿勢を感じました。これからも地域を支えるパートナーとして協働できればと思います。松見さん、お忙しい中、本当にありがとうございました。



続いて、あさひが丘企画担当スタッフの本企画に込められた思いを語ってもらいました!



今回の企画が決まった時、率直に、「やっと来た!!」というのが正直な気持ちです。現在私は、ぎやらりーASAHIYAがある本体の障害者支援施設あさひが丘ではなく、岡之原に拠点を持つ、地域生活支援センターあさひが丘の中にある、就労継続支援B型と生活介護の多機能型事業所の担当をしています。ぎやらりーASAHIYAは、私が担当していた7年前に、「もっと多くの人に、利用者の作品の“あたたかさ”に触れてほしい」という思いから生まれました。ASAHIYAを立ち上げた当初は、「この場所に満足せず、もっと多く人が集まる場所で、ASAHIYAから生まれた作品を紹介できるようになる!!」ということ、よく職員同士で話していたのを覚えています。

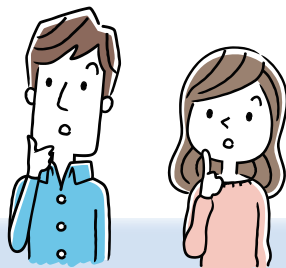
今は、直接的にASAHIYAを担当しているわけではありませんが、利用者のアート作品に触れてきた中で培ってきた思いと、現在担当する部署の中にも、アート活動に励む利用者の方がいることもあり、今回のイベントに携わることが出来ました。私たち支援者は、利用者一人ひとりのアート作品に、どのような形で携わることが、彼ら、彼女らの魅力を引き立たせることが出来るのか、いつも試行錯誤です。彼ら、彼女らが感じたままを表現できるアート活動では、私たちの想像を遥かに超える作品が生まれます。作品に触れる度、何とも言えない“あたたかさ”を感じます。



田端 敬美



今回の企画では、それぞれの作家(利用者)の日常の中の一コマエピソードを添え、作品に触れる人たちがそれぞれが、想像を膨らませながら、この“あたたかさ”をより感じてもらえるようにしました。日常当たり前に遣っている言葉だけでは表現できない、彼ら、彼女らの思考や心情、世界観が詰まった作品たちの魅力を引き出すための仕掛けを、今回、マルヤガーデンズさんと一緒に作り上げることが出来たことは、本当に貴重な時間でした。マルヤガーデンズさんをはじめ、足を運んでくださった多くのお客様に、いろんな形の“あたたかさ”を伝えることが出来たのではないかと思います。ここを再出発とし、今後も、皆が表現するアートの魅力を発信し続けていきたいと思っています。



マイ フィールド My Field



仕事をしながら次々と資格を取得！

上 久美子

あさひが丘学園
Aユニット保育士

Q1 学園に来て何年ですか？

5年目になります。1年目は成人部2寮、2年目から児童部の配属になりました。

Q2 入職したきっかけを教えてください？

社会福祉士の受験資格を得るために専門学校の通信教育を受けていて、その講師でセンター長のかおるさんが担当だったこと、あさひが丘で実習をさせてもらい、施設特有の臭いがなく職員も明るく雰囲気が良かったことから、就職を考えました。

本当は、子どもが高校卒業してから転職をしようと考えていたのですが、あさひが丘の実習がきっかけで、計画を早めて飛び込んでみました(笑)。

Q3 そうだったんですね、ちなみに前職は？

出版社で編集の仕事をしてたり、フリーで雑誌のライターの仕事をしていました。リビング新聞やTJかごしまの記事を書いたりしていたんですよ。流行を追う仕事だったので、40歳台をどう過ごそうかと考えた時、これからは経験がプラスになっていく仕事をしたいと考えようになりました。

Q4 それで福祉の道へ？

はい。実は、東京の大学で社会福祉を学び、卒業後に高齢者福祉の施設に3年ほど勤めていたことがあります。その後、鹿児島へ戻り出版業界へ入ったのですが出産で一度辞めました。復帰後、ライターの仕事をしながらまずヘルパーの資格を取り、その後、介護福祉士資格もとりました。福祉職を始めるスタートが遅いので、足りない分の穴埋めをしたかったというのと、福祉のプロとしての基本知識を身につけたいと思い、社会福祉士にも挑戦しようと思いました。

Q5 社会福祉士の受験結果はどうでしたか？

2回挑戦しました。1回目は1点足りず、2回目で合格できました。

合格したことで、福祉のプロとしての考え方のベースができ、自信がつきました。

Q5 仕事をしながらの受験は大変だと思いますが、すごいですね！

子どもの大学受験の時期と重なっていたので、お互いに頑張ることができたと思います。

社会福祉士の資格を取得後は、保育士試験も受けました。その際は同僚と一緒に受験をしたので、お互いに近況を確認し合いながら挑戦できました。しかも、コロナ禍で実技試験が1科目だけになったこともありラッキーでした。

Q6 保育士資格もあさひが丘に来てから取得したのですね、昨年度末には精神保健福祉士の資格も取得したそうですね？

はい、社会福祉士を取得したことで視野、世界が広がり、保育士と精神保健福祉士の資格も取得しようと思

いました。

精神保健福祉士の方も、コロナ禍でスクーリングが全てオンラインになるなど、とりやすい環境だったと思います。

Q7 仕事をしながら勉強を続けるコツなどありますか？

私は試験日近くになってからでないといけないタイプなのであまり参考にならないかも…(笑)

過去問を解いて、その解説を全部覚えめました。問題集は分厚くてモチベーションが下がるので、科目毎に問題集を切ってしまい、問題集を薄くしました。そして1冊ずつとりかかりました。勉強する時も場所をいろいろ変えると気分が変わって良かったように思います。

試験の1か月前からは仕事以外の時間を全て勉強にあてるくらいの気持ちで臨みましたが、実際には仕事以外にも家事や家族との時間など、どうしても削れない時間があり、勉強できる時間は思ったより少なく、5分あれば過去問を1問解くなど、細切れの時間を大切にしました。それから「今日は寝る前に単語を1個覚えたら◎」等、ハードルをとことん低くして、クリアできた自分を褒めるようにしました。そうすることで何もしないという日を作らないようにしていました。

Q8 スモールステップで出来たことを褒める！大事ですね。それから問題集を切って薄くするというのは面白いですね！今後の目標などありますか？

取った資格を現場の仕事に活かしていくのが今後の目標です。

Q9 今の現場の仕事はどうですか？

成人部から児童部へ異動になった時、自分は子育てが苦手だと思っていたので正直不安でした。でも、一緒に過ごしているとやっぱり子どもたちは可愛いです。自分の思いを叶えていく子どもたちをみると、とてもやりがいのある仕事だと思えます。

Q10 プライベートでの楽しみはどんなことですか？

自分の子どもが東京と福岡にいますので、以前は遊びに行くのが楽しみでしたが、今の状況ではできないので…読書をしたり、週1回ヨガ教室に行ったりして楽しんでいます。最近はメルカリにもハマっています。東京の小さなお菓子屋さんがクッキーなど出品していて、美味しいので何度か購入しています。自分でも出品してみたこともありますよ。

Q11 ちなみにどんな物を出品したのですか？

子どもたちが自宅に置いていったTシャツやフィギュアなどです。一応、許可はとってから出品しましたよ(笑)

Q12 最後にメッセージをお願いします？

とてもやりがいがあり、50代でも頑張れる仕事、職場ですよ！

永井 大夢さん

Q 自己紹介します。

A 永井大夢 21歳 A型です。

Q 今の仕事は何をしていますか？

A 竹工（第二工場）で額縁製作とナンニチ（施設外就労）で缶酎ハイの袋詰めをしています。

Q 額縁の作業はどんなことをしていますか？

A 「かしめ」といって電動ドリルを使って枠を固定する作業をしています。

Q ドリルとかは難しいのではないですか？上手に出来ていますか？

A 完璧です（自画自賛）

Q すばらしい！！さすがだね～！！缶酎ハイの袋詰めは楽しい？途中で飲んだりしてない？（笑）

A そんなことしたら怒られるよ～。

Q お酒は飲めるの？

A 飲めるよ。休日の前は、家族で飲んだりするよ。

Q へえ～、何を飲んでるの？

A チューハイ1本くらいかな。「ほろよい」の「白いサワー」が好き。

Q 酔うとどうなるの？

A トイレが近くなる。



Q わかるわかる～。飲んだ時あるあるだね。ところで最近気になることとか、始めたこととかありますか？

A うん、あるよ。最近散歩を始めたんだよ。家の周辺を約1時間くらい歩く。

Q すごいね。私もやろうかな。

A やってみるといいよ。健康にもなるし気持ちもいいし。

Q 将来の夢ややりたいことがありますか？

A 小さい時から車が好きで、色々な事を知っているので車の販売員になりたい。

Q お気に入りの車は何？

A やっぱりアルファードかな。カッコいいもんね。

今日はありがとうございました。これからも頑張ってくださいね。

はい、これからも色々な作業にチャレンジして頑張っています。



「心」

地域生活支援センターあさひが丘 ワークショップあすもね
保護者 持留 智子さん

「心」（しん）という名前は、心（こころ）がキレイでやさしく、心（しん）の強い子になってほしいという、私たち夫婦の願いを込めて命名した名前です。

心が生まれた喜びもつかの間、「あれ？」と思うことが3日目頃から起こり、何かが違うかも…。と、不安がよぎる毎日を過ごしていました。

周りの子どもより明らかに成長が遅く、少しずつ“ずれ”を感じていくなかで、「一体、この子の体の中で何が起きているのだろうか。」と思う日々でした。

この子に知的な障害があるとわかったのは、4才になる年でした。知的な障害があるとわかり、私が悲しみに涙を流していると、そっと私の涙をティッシュで拭いてくれたのは心でした。人の気持ちも全く理解しようとせず、言葉も出ない4才という幼い心だと思っていたのに、この子はやさしく私の顔を拭いてニコッと笑い、私の手と夫の手をとり、つながせたのです。

それからは、「前を向いて、楽しく、素敵な1日を過ごそう！」と心に決め、夫婦で自問自答しながらの日々。学校でもうまいかない日々の連続で、心自身も大変だった

かと思います。出来ないことを1つずつ埋めていくパズルのような日々でした。でも、普通は当たり前出来るようになる小さなことでも、心の「できた😊」は、我が家をハッピーな一日にしてくれたと自負しています。

中学1年生になったとき、保護者の福祉事業所見学会があり、「ワークショップあすもね」を見学する機会がありました。私は、一目惚れでした。それから、同法人内にある放課後等デイサービス我路の利用をはじめ、卒業前の高校3年生の時に、ギリギリ実習に行くことができ、晴れてあすもねに入ることが出来ました。毎日日本人なりに頑張りと、スタッフの方と一緒に働く同僚に助けられながら過ごしています。時には、家で発散することもあります。あすもねに迎えに行った帰りは、必ず、「ママ、がんばったよ」という言葉に、嬉しく、また、頼もしくも思う日々です。たくさん迷惑をお掛けする日々ですが、こんな私たち家族を、そして心を、これからもどうぞよろしくお願い致します。



あさひが丘学園

7月22日(木) ASAHIYAワークショップ

今年度2回目となるASAHIYAワークショップを開催しました。今回もコロナ禍ということで募集定員を減らしての実施となりました。陶芸、蹄鉄リメイク、レザークラフト、レジン創作と4つのワークショップを行い、親子で参加される方も多く、夏休みの宿題や思い出作りとして皆さん楽しまれている様子でした。



8月27日(金)

あさひが丘学園内のイベントとして、あさひが丘夏祭り～夏だ!祭りだ!全員集合!～を開催しました。

会場にはヨーヨー釣り、くじびき、輪投げ、的当てなどのミニゲームの他、手作り神輿も登場し、皆さん笑顔で楽しんでいる様子でした。また、夏祭り特別昼食メニューやアイス、ノンアルコール飲料、ジュースなども堪能できたようで、夏の楽しい思い出になったのではないかと思います。

「第8回 あさひが丘秋まつり」縮小規模で開催予定です。

今年度も、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、従来の形での秋まつりではなく、みかん狩りやASAHIYA販売、乗馬体験、野菜販売等を中心に、規模を縮小してのイベント開催を予定しています。



7月22日(木)

第4回青空市を開催しました。

初めての祝日開催で、地域の方々も多数来場してくださいました。キッチンカー(八鶏伝、MIMIカフェ)も2台来てくださり、唐揚げやコーヒー、カレーなど大好評でした。





9月22日(水) 川上婦人会陶芸教室

昨年に引き続き、川上婦人会の方々があさひが丘へ来園され、陶芸体験をされました。皆さん思い思いの作品を作っており、焼きあがりを楽しんでいます。

旭福祉センター

旭福祉センタービアガーデン

7/9、7/17、8/1、8/8、8/22、8/29、9/3、9/10、9/18の9日間に分かれて、入所とグループホームの利用者59名がCaféNODOKAで開催されたビアガーデンに参加されました。



旭はなまるマーケット開催案内

今年も昨年に引き続き、「旭はなまるマーケット」を11月23日(火)と12月4日(土)の2日間に分けて開催する予定です。今回は会場に隣接している畑を使用して、野菜の収穫体験や穫れたて野菜の販売を計画しております。まだコロナが収束しておりませんが、会場ではコロナ対策万全でお待ちしておりますのでぜひご来場ください。



地域生活支援センター

8月5日(木)

「こどもサポートセンターあさひが丘」起工式

令和3年8月5日(木)、社会福祉法人落穂会の新たな事業所として運営予定である、「こどもサポートセンターあさひが丘」の起工式がありました。令和4年4月からの事業開始に向けて、現在準備を進めているところです。事業内容としては、児童発達支援(定員10名)、放課後等デイサービス(定員10名)となります。また、地域の方が自由に活用できる「地域交流室」を設置しました。先日は、地域の方々と、地域交流室の活用方法について、意見交換会の場も設けました。完成時期には、地域の方を招いての内覧会も計画しております。





新商品紹介

秋の味覚のパンが新登場!かぼちゃプリンのようなパン、色鮮やかなほんのり紅芋の風味香る紅芋パン、コロコロ栗のクリームの入った表情豊かなくりぼーパン。

ぜひご賞味ください!!

各 150円(税込)



「楓の日」

毎月2回、どこかの
土日で楓の日を開催中!

菓子パン100円、食パン半額など...毎月違った内容で日頃の感謝をお客様へ還元します。NODOKAでもワンコインでお得なランチを食べることができます。毎月のお得な内容はSNSやチラシにてお知らせします!皆様のご来店お待ちしております。

カフェ&レストラン
NODOKA

のどか おすすめ!

デラックスプレートランチがちょっとだけリニューアル!!!
特製ハンバーグにアボカドバーガーなど今回もワンプレートにボリューム満点に仕上げました!

デラックスプレートランチ
1,400円(税込)



ぎやらりーASAHIYAより
お知らせ

大栄家具

住所: 鹿児島市西伊敷1丁目2-16
電話: 099-220-2395

定休日
日曜日

西伊敷の家具屋さん「大栄家具」でASAHIYA商品の委託販売を行っています。

家具の販売だけでなく、地域のコミュニティカフェとして、人と人との交流の場となっており、温かい空間にて穏やかな時間が流れています。その一角にASAHIYAの厳選商品を置かせていただいています。毎週金曜日は、美味しいカレーも食べられますよ!



ぎやらりーASAHIYA
インスタ絶賛更新中!
【#gallery._asahiya】



社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町 2503 番地
<http://www.asahigaokagaku.jp/>
<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設
あさひが丘学園
TEL 099-238-4821

障害者支援施設
あさひが丘
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター
あさひが丘
TEL 099-243-1112

障害者支援施設
旭福祉センター
TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業
第二旭福祉センター
TEL 099-244-3551